

大規模災害時における避難所支援体制の強化 (特に災害リハビリテーションについて)

資料3-1

地域包括ケア課

1 JRATの概要

J R A T… Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team
※ 東日本大震災を契機に活動を開始

(一社) 日本災害リハビリテーション支援協会 (設立: 2020年4月)

1 目的

大規模発災時、避難所等へ速やかにリハ職を派遣・活動できる体制を構築し、生活不活発病等や災害関連死を予防することで、早期に災害を乗り越え、自立した生活の再建・復興を実現する。

2 事業内容

- ・発災後のリハビリテーション支援活動
- ・災害リハビリテーションにかかる支援チームの組織化・人材育成など

3 構成団体 (リハビリテーション関連13団体)

日本リハビリテーション医学会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士会、日本リハビリテーション病院・施設協会、ほか8団体

2 現状・課題

能登半島地震を踏まえ、埼玉県でも県内発災時にリハビリテーション専門職による支援体制づくりが必要。

3 主な取組

県内で災害が起きても、JRATによる円滑な支援につなげられるよう、県と埼玉JRATとの間で「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定」を締結する。

(令和6年11月予定)

※ 埼玉県以外の協定締結県: 17県 (R6年7月30日現在)

※ 石川県は令和6年1月8日、地震直後に締結した

4 今後の進め方

発災時に迅速な支援につなげる体制づくりの構築
(発災時のJRAT本部の機能強化 等)